

な る ど

八戸聖書キリスト教会
牧師：澤田 隆一
電話：0178-43-3091

NO・
2015年、
12月13日



きょうダビデの町で、あなたがたの
ために、救い主がお生まれになりました。
この方こそキリストです。

ルカ 2章11節



この時期になると、町も住宅地もイルミネーションやクリスマスにちなんだ BGM を耳にすることが多くなります。では、一般の方がクリスマスの意味を知っているのかと言えば、最近ではラジオや TV でも「キリストの生まれた日」として認識されるようになりました。そこで、今回は、「クリスマスの意義」について書きます。

クリスマス（英：Christmas）とは、「Christ=キリスト」と「Mas=ミサ（礼拝）」の2つの言葉が一つの単語になったものです。世間一般でも「クリスマスはキリストが生まれた日」と認識はされていますが、「キリストを礼拝する日」という意義までは認識されていないことが多いように感じます。

では、「キリストを礼拝する日」としてのクリスマスはどのようにして始まったのでしょうか？ それは、今から約二千年程前にユダヤという国のベツレヘムという小さな町の宿屋に付属した馬小屋（家畜小屋）からでした。

羊飼いが野宿をしながら羊の番をしていた時に、夜空いっぱいには天使達が現れて、「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそキリストです。」（ルカ 2章11節）とのお告げを知らせたのです。

羊飼いはすぐさま、宿屋の馬小屋へ行き、生まれたばかりのキリスト・イエスを見つけ出し、神様のみ名を賛美しました。その後、東方の博士達が星に導かれて幼子であったキリストを見つけ出し、礼拝をささげました。こうして、世界で最初のクリスマス（キリスト礼拝）が始まりました。

では、何故羊飼いや東方の博士達が幼子であったキリストを礼拝したのでしょうか？

それは、このキリスト（救世主）が、全世界の人々の罪咎汚れを一身に背負う十字架に架けられて死に、三日の後の復活されるために生まれて来て下さったからです。

教会では、クリスマス礼拝の4週前をアドベント（待降節）と呼んで、一週毎に蝋燭を一本ずつ増やしながら灯し、4週で4本全部を灯します。一本の蝋燭が増える毎に、キリストのご降誕が近づいてくるのを心待ちにしながら過ごすのです。

今年も大切な方々と共に「キリストを礼拝する」クリスマスを教会で過ごさせて頂きましょう。皆様の上に、神様の豊かな祝福が益し加えられますように！

八戸だより

教会学校や子供達

12/5(土)ひと足先に、教会学校のクリスマス会を行いました。当日は、5人の子供達と5人の大人で工作やホットケーキでクリスマスをお祝いしました。

工作内容

- ・松ぼっくりのミニツリー作り
- ・スライム作り

みんなで作ったミニツリーは教会に沢山飾られています。子供達も皆元気ですが、中学生も2人となり、部活等で参加できないこともあります。お祈り下さい。



今年のクリスマス計画

・クリスマス礼拝、祝会

礼拝：12/20(日)午前10時30分～
祝会：同日礼拝後より開始

★ゲストとして管弦楽団八戸アンサンブル『スイート・ハーツ』をお招きしてのミニコンサートを予定しております。
(隣写真は10月特別集会での演奏)

・クリスマスイブ集会

聖夜礼拝：12/24(木)午後7時～
聖書のみことばと賛美を中心とした集会の予定です。集会後茶話会があります。

教会の近況など

- ・K長老は毎週の礼拝へ参加され、お元気です。続けて回復のためにお祈り下さい。
- ・高齢の方々に、歩行困難になってきておられる方がおられます。癒しのためお祈り下さい。
- ・教会の方がご家族を亡くされております。慰めのためどうかお祈り下さい。
- ・今年も神様と共に歩みながら、教会の皆と共に過ごすことが出来ることを感謝します。

